

このニュースはFAXとメールで送信しています。地域民報への転載、各支部への配布にご活用下さい。

さっぽろ

# 市議団ニュース

2014年10月27日

No.117

日本共産党市議団事務局発行  
電話 211-3221 FAX218-5124

## 「春先の雪解け時、穴だらけでボコボコ」——生活道の整備いそいで 井上ひさ子議員が質問

日本共産党の井上ひさ子議員は21日、市議会決算特別委員会で生活道路の整備について質問しました。井上議員は、共産党市議団が行った「市政アンケート」で、「春先の雪解け時、穴だらけでボコボコ」「冬は滑って転んで何人も骨折している」と10人から同じ道路について要望があったことを紹介し、「生活道路の整備や補修は要望が強く、市内の中小の建設業者にも仕事がまわる」と、整備計画についてただしました。

建設局の八柳壽修維持担当部長は、「生活道路の整備率は約78%、年間30%<sup>\*</sup>。（整備率で1%）のペースで地域の要望、交通事情などを考慮してすすめている」と答弁。

井上議員は、「年間1%では相当な年数がかかる、簡易舗装のままのところもありパトロールなどを強化し迅速にすすめるべき」と求めました。

## 期限付き教員を正規雇用に、早期改善を 宮川潤議員が質問

日本共産党の宮川潤議員は21日の札幌市議会決算特別委員会で、教員が多忙である問題と期限付き教員が多い問題を取り上げて質問に立ちました。

OECD（経済協力開発機構）の調査では、日本の中学校教員が他国に比べて突出して多忙であり、疲弊していることが明らかにされています。

宮川議員は、非正規雇用である期限付き教員は、正規雇用の教員と同じく責任が重く過労死するほど忙しい業務に加えて、翌年の採用試験に向けた受験勉強をし、その採用試験に合格しなければ雇止めになり失業するかもしれないという苦しい立場におかれている、と指摘。昨年の予算特別委員会での質問に対し、教育長が「期限付き教員を少しでも減らして正規教員を充てていく、この方向性についてはぜひとも進めたい」と答弁しましたが、2012年323人だった期限付き教員が、今年度は344人と逆に増えています。

宮川議員は順を追って採用日程を整理し、「定年退職教員の中で、『再任用で働く』としていた人が、最終確定の前年11月に『やはり退職します』とした教員の代わりに期限付き教員が採用されていたが、その期限付き教員の健康診断等のスケジュールを調整すれば、4月から正規雇用ができるのではないか」と指摘しました。引地秀美教職員担当部長は「日程や事務手続きなど、あらためて調査、確認をして今後検討していきたい」と答弁しました。